



MINATO-TOKYO

みなとユネスコ 会報

Bulletin

MINATO UNESCO ASSOCIATION NEWS & CALENDAR

ISSUED BY/MINATO UNESCO ASSN. 16-3,SHIMBASHI 3-CHOME MINATO-KU TOKYO 105-0004/HIROSHI NAGANO PRES.
発行所/港ユネスコ協会 〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 Tel: 03-3434-2300 Fax: 03-3434-2233 発行人/永野博
Mail: info@minatounesco.jp http://minato-unesco.jp

2020年12月1日発行 第162号

目次

P1	巻頭言	P7	薬膳料理教室
P2 - 5	第一回国際理解講演会	P8	事務局便り、編集後記
P6	日本語教室		

ユネスコ活動でアフターコロナの社会を構想しよう

港ユネスコ協会 会長 永野 博



令和2年はコロナの年と後年、記憶されるでしょう。日本では今のところ都市封鎖まではいっていませんが、移動の自由も制限されて出張もほとんどなくなりました。その結果、求められているのがリモートワークなどのニューノーマルです。通勤電車には乗らなくてよいし、仕事の時間も柔軟に設定できる。しかし、家に仕事をするスペースのない人の場合は、どこで仕事をしたらよいのかという悩みも聞こえます。

新型コロナ感染症は私たちの生活パターンを有無を言わずに変えていくでしょう。一つは世の中のデジタル化です。最近報道でもデジタルトランスフォーメーション、略してDXという表現が頻繁にできます。日本では何年たっても実現しないと言われていた自宅でのリモートワークが半年で普通になってしまいました。伝統文化ともいえる印章の使用もなくなるかもしれません。外圧でなら変化するといわれる日本を地で行く感じがします。

この変化にどう対応していくのかが私たち個人個人ばかりでなく、社会全体に問われています。仕事の仕方、家庭での過ごし方、余暇の楽しみ方、教育の在り方、都会と地方の関係など社会の骨格をなしているシステムがアフターコロナでは確実に変わっていく勢いですが、ここで私たちに課せられる大きな課題は、その新しいシステムに私たちが受け身的に対応していくのか、それとも新しいシステムを私たちが自ら思案し、作っていくのか、どちらを選ぶのかという点にあると思います。私たちはやはり、予見できる近未来に向けて、私たちが幸せになれるような社会はどのような社会かを考え、議論し、実現していく責務があると思います。

日本では日頃から市民レベルでそのようなことを議論する場が多くありません。草の根運動の原点でもある民間ユネスコ活動はある意味、その運動体として最適な存在です。港ユネスコ協会では令和元年より平和を考えるシンポジウム・シリーズを開始しました。第1回は気候変動に関する個人や地域の取組を事例にSDGsのための学びとアクションを取り上げました。今月開催を予定している第2回では、人類の存続を左右する海を知り、持続可能な地球を目指すために来年から始まる国連海洋科学の10年について理解を深めます。港ユネスコ協会では、ユネスコ憲章を念頭におきながら、これからの世代にどのような社会を受け渡していくかを考える機会を継続して作っていきたいと考えています。

2020 年度 第 1 回国際理解講演会

「古代ギリシャの歴史と神話と世界遺産」 講演者：友野智子氏 世界遺産アカデミー認定講師

日時：2020 年 10 月 15 日

会場：リーブラホール

主催：港ユネスコ協会 共催：港区教育委員会

後援：世界遺産アカデミー

司会及び会長挨拶のあと、講師の紹介が行われました。

当日は 80 人の応募がありましたが、あいにく天候も悪く 63 人の参加となりました。テンポの良い講師の話と興味深い神話の世界、美しいギリシャ世界遺産の画像、時に講師から会場へ三択の質問の呼びかけなど、会場全体が講師の話に引き込まれていきました。

< 講演 >



今日は古代ギリシャの神話と世界遺産ということで、世界遺産の話なのですが、文化遺産のすべてに歴史が関係し、その多くに神話に関わっています。現在は廃墟となっているものが多いので、歴史や神話の話から想像を膨らませて、遺跡を見てほしいと思います。

ギリシャの国土は日本の 3 分の 1 ですが 18 件の世界遺産があり、多くがギリシャ神話に関係しています。ギリシャは人口約 1000 万人。アテネに約 300 万人が暮らし、ギリシャと言えばアテネと思われる程、日本よりはるかに一極集中している国です。

エーゲ文明

歴史は、エーゲ文明の後に暗黒時代に入ります。その頃、ギリシャ神話が語られ、ポリス時代、黄金の時代がやってきます。

古代の四大文明ですが、まず、メソポタミア文明はチグリス川とユーフラテス川の間、今のイラクで起こります。エーゲ文明はメソポタミア文明やエジプト文明の影響下で興りました。

エーゲ文明はクレタ島で始まりました。紀元前 2000 年頃から、線文字 A を使うクレタ文明の後、紀元前 1600 年頃、ペロポネソス半島のミケーネに文明の中心は移り、現在解読可能な線文字 B を使うミケーネ文明が起こります。ドーリア人の侵入により破壊され、文字を持たない暗黒時代を経て、BC 8 世紀頃から、各地でポリスが出来ていきます。そしてアテネを中心に栄えました。

古代ギリシャ人は自分たちのことを「ヘレネス」と呼びました。地中海交易で出会う異民族の言葉が「バババ…」と聞こえたため、違う言語を話す異民族を「バルバロイ」と呼んでいました。

地中海に東方からペルシャ帝国が勢力を広げ、ペルシャ戦争が起こり、BC 4 世紀にはアレキサンロス大王のマケドニアが起こり、ポリスは衰退していき、ローマ帝国に飲み込まれていきます。

地中海は夏暑く、ギリシャの土地はやせていて、小麦の栽培には不向きですが、オリーブとブドウはよく育ちます。オリーブは最初の十年間は世話が大変ですが、その後は何もしなくても実をつけてくれます。また、葡萄酒は、日本酒と異なり、ブドウを樽に入れて放っておけばワインになります。

氷河期には地中海はなく、山と平野が広がっていました。日本も大陸と繋がっていたと考えられていますが、地中海も氷河期が終わり、暖かくなり、エーゲ海が出来ました。そして、農耕が伝来し、

文明が出来ていきます。文明とは、四大文明でもわかるように、まず、文字を持つこと、青銅器などの道具を持つこと、都市国家を形成することです。



地中海ではクレタ文明が起こります。クノッソス神殿は世界最古の神殿ですが、近代的な工法で修復されていますので世界遺産に認定されていません。巨大貯蔵庫にはエジプト文明の物と思われ高価な備品もあり、交易が行われていたことが分かります。壁画には海の青さも描かれ明るい文明であったことが想像できます。また、他の壁画には、牛の上でアクロバットをしている絵も残されています。

クレタ文明はミノア文明と言いますが、王様の名前がミノスだからです。

ミノスは神ゼウスと人間エウローペの子供です。ミノスの子供は牛の頭を持つ怪物でした。ミノスはその怪物ミノタウロスに閉じ込める迷宮をクレタ島に造らせ、毎年生贄を運ばせました。アテネの王子テセウスがミノタウロスを退治にやってきます。ミノス王の王女アドリアドネがテセウスに恋をし、手を貸してミノタウロス退治したという神話が残されています。

クレタ文明は結局アカイア人に滅ぼされます。クレタ文明では線文字 A が使われていましたが、これは解読できず、アカイア人が使っていた線文字 B が解読できたため、歴史が明らかになりました。この頃ミケーネ文明の都市国家間で抗争を行っており、戦闘的な壁画が残っています。

ミケーネ文明に残された黄金のマスクは神話に出てくるスパルタ王アガメヌノンではないかと言われていますが不明です。

ミケーネ文明を破壊したのは、北方からのドーリア人の侵入によると言われてきましたが、この頃他の文明は海から侵入してきた民族に破壊されていますので、ミケーネの破壊も海からの民族によるものではないかとも言われています。

暗黒時代とギリシャ神話

現在トルコに位置するトロイアでも、BC2600年頃から地中海の文明が起こっていました。これを発掘したのはドイツのシュリーマン。彼はホメロスの叙事詩「イリアス」の世界が実在すると信じて作業に取り掛かり 1871年、発掘に成功しました。

クレタ文明、トロイア文明はアカイア人に滅ぼされ、アカイア人はミケーネ文明を残しますが、ドーリア人に滅ぼされます。ドーリア人はそれまでの文明の主流であった美しい青銅器に代わり、鉄器を使用し、非常に強かったです。この後、記録がない時代に入っていく、この時代を「暗黒時代」と呼びます。この時代に神々の神話が出来ます。

ギリシャの神々はローマの神々にそのまま繋がりますが、呼び名が異なります。

- ・ゼウス 王であり、万能の神です。シンボルは雷。各地で子供を授かり、その地域の住民は神ゼウスを崇拝しています。
- ・ヘラ 女王。ゼウスの妹であり正妻。ヘラのシンボルは孔雀。
- ・アテナ ゼウスの娘、戦いの神であり、都市国家の守護神。有力なアクロポリスの神殿はアテナが祭られています。シンボルは盾、そしてオリーブ。ライバルはポセイドン。逸話があります。アテナからは「私を守護神してくれるのならオリーブを与えよう」、ポセイドンからは「水を与えよう」と言われたポリスの人々は守護神にアテナを選び、ポリスの名前は「アテネ」になりました。



- ・太陽神アポロン 予言を与える神。シンボルは月桂冠、豎琴、弓矢等。ゼウスの双子の子ども一人。アポロンの月桂樹の冠は、恋愛の神のエロスを擲擄したため恋に陥る「銀の矢」を打たれ、相手のダフネは愛を拒む「鉛の矢」を打たれます。恋するアポロンは、ダフネを追いますが、河の神を父に持つダフネは月桂樹に姿を変えてしまい、アポロンの思いは絶たれます。悲しんだアポロンは月桂樹で冠を編み、永遠に身に着けています。
- ・月の女神アルテミス アポロンと双子の兄妹、狩猟の神、シンボルはスカート、弓矢等
- ・アフロディテ 別名ヴィーナス 愛と美と性の女神、シンボルはホタテ貝、ゼウスの祖父ウラノスの男性器のかけらが海に落ち、その泡から生まれたとも伝えられています。その子供に恋愛の神エロスがいます。
- ・ディオニソス 別名バッカス ブドウ、ワイン、演劇の神。神ゼウスと人間の間の子とも、神ではないが、ブドウ栽培とワインづくりを広めたので、神として祀られるようになりました。アテネではディオニソスを祭るお祭りが盛大に行われました。
- ・アスクレピオス 医の神。アポロンの子。ケンタウロス（頭が人間で体は馬だが賢い）に育てられます。医業に長け、死者をも蘇らせたため、ゼウスの怒りを買って雷霆で撃ち殺されてしまいます。しかし、功績を評価され、天に上げられ、へびづかい座として神の一員になります。WHOのロゴにある蛇の巻き付いた杖はアスクレピオスに、周りの月桂樹は父アポロンに由来します。

神話の話の最後にトロイア戦争の原因とも言われます「パリスの審判」の話をしてします。これは神ゼウスが、トロイア王の息子で羊飼いをしているパリスに 3 人の女神のうち最も美しい女神の判定をさせる話です。ゼウスの妻で神々の女王ヘラは自分を選べば「世界の王の座」を、アテナは「戦いにおける勝利」を申し出ますが、結局「最も美しい女性を与える」と申し出たアフロディテをパリスは選びます。パリスはスパルタ王の妻ヘレネを得ますが、そのため戦争になります。そもそもこの戦争は増えすぎた人間を減らすことが目的でしたので、神々がこの戦争に介入し、戦争は長引きますが、トロイアは滅びました。

ポリス時代

BC8 世紀頃ポリスが形成されますが、ポリス間の抗争は市民も含む総力戦となり、戦いを担う市

民たちは当然政治への参加も求めアテネで民主制が発達します。貧富の差の問題解決を行うソロンの改革などがあり、その後、ペルシャ帝国との衝突から有名なマラトンの戦いなどペルシャ戦争が起こります。ペルシャに備えてデロス同盟が作られますが、BC 5世紀にはライバルのスパルタ（軍事訓練に励む国）のペロポネソス同盟との間でペロポネソス戦争が起こり、やがてポリス社会は衰退していきました。

世界遺産

① ミケーネとティリンスの考古遺跡

BC1600年～BC1200年ギリシャ人第一波アカイア人による文明。巨石の城砦は幾何学的な文様、入り組んでいる構造が特徴。ミケーネ文明の中心地。シュリーマンが発掘。黄金のマスク（ギリシャ神話に出てくるスパルタ王アガメヌノン？）など。

② トロイアの考古遺跡（トルコ）

ホメロスの「イリアス」に書かれた「トロイの木馬伝説」を信じてシュリーマンが発掘。

③ パルテノン神殿（アテネのアクロポリス）

女神アテナに捧げられた神殿。柱はドーリア式（ほかにコリント式、イオニア式がある）。黄金比でできている。黄金比は1：1.618の比率で人が最も美しいと感じる比率。

④ アテナ・ニケ神殿（アテネのアクロポリス）

勝利の女神ニケが飛び去らないよう翼を切り落されたニケ像が祀られていた。

⑤ ディオニソスの劇場（アテネのアクロポリス）

ギリシャ悲劇などが演じられた。

⑥ オリンピアの考古遺跡

ゼウスの聖域。ポリス間の争いを中断する目的で古代オリンピックが行われた。ヨーロッパ人はアテネに対する憧れが強い。クーベルタンの提唱により近代オリンピックが始まる。

⑦ サモス島のヘラ神殿とピタゴリアン

聖火の採火を行う場所。サモス島は女神ヘラの誕生地。ピタゴラスも生まれた島。

⑧ デロス島のアポロン神殿

ドーリア式。太陽神アポロンと月の女神アルテミスが生まれた島。

⑨ デルフィの考古遺跡

アポロンを祀る神託の地。

⑩ エピタウロスにあるアスクレピオスの聖地

医神アスクレピオスの聖地。複数の神殿と宿舎があり病人が休み癒される温泉などもあった。

⑪ バッセのアポロン・エピクリオス神殿

BC420年、ペストの流行を免れた住民が感謝して建てた。ドーリア式、コリント式、イオニア式が混在している。



（国際理解講演委員会 山田裕子）

日本語教室トライアルレッスンの開催

月日：9月26日(土)

場所：港ユネスコ協会 事務局

9月26日に、初級の方を対象とした日本語教室のトライアルレッスンを行いました。数人の申し込みを頂いておりましたが、当日は 雨ということもあってか、少人数の参加となりました。

会話に重点をおき、10回終了時には日常会話の基礎レベルの習得を目指します。「みんなの日本語初級 I」を中心に、副教材を使用して、初心者にわかりやすい授業をします。そして、町に出て、自分の要求を伝えられるようにすぐに使える表現を最初に取り入れます。



この日は すぐに使える表現、

「(名詞) お願いします。」

「(名詞) ください。」

「大好きです / 好きです / 好きじゃありません。」

を取り入れました。テキスト学習を授業の60%、 実用表現に40%程度の配分で授業を進めます。

10回のレッスンの間には、

「オススメの店は？」

「なにが おトク？」

「メチャ うまい！」

「なにに ハマってる？」

「タピる」

「ググる」

など、この頃良く耳にする言葉の紹介や、いつも不思議に思っている日本の習慣などの「なぜ？」を取り入れます。東京で生活する上での情報交換も見逃せません！



10月から本レッスンに移り、今のところ学習者は少ないですが、学習者のペースに合わせて、レッスンを進めており、お国の事、日本での出来事など おもしろい話で盛り上がっています。

(語学研修委員会 田川純子)

薬膳料理教室（お話と実習）

講師：山口由美子、アシスタント：本田淑子

日時：9月27日(日)12時～15時30分

場所：港区男女平等参画センター「リーブラ」料理室

参加者：応募者16名+スタッフ9名

<メニュー>

- 1、スペアリブの粥
- 2、蒸し野菜と麻辣肉味噌
- 3、補腎の田作り
- 4、蓮根餅
- 5、白木耳(シロキクラゲ)のジュレ
- 6、シェントウジャン豆乳スープ、菊花と決明子茶



6月に定員24名で計画されていた料理教室ですが、新型コロナウイルスのため9月に延期。人数も定員を16人、スタッフも制限し、消毒、マスク、手袋着用など細心の注意が払われました。また、食材に触れることを極力避けるため、講師、アシスタントの方々のご尽力で、事前に料理の下ごしらえが行われました。

調理実習の前に、福岡市で「マンダリンキッチン」主催、福岡大学「ケインズキッチン」で講師もされている山口由美子講師からパワーポイントを用い「陰陽五行学説」に基づいた「薬膳」講義がありました。「薬膳料理」とは、中医学理論に基づき、食材と中薬（生薬）を組み合わせた料理。中国に於ける薬膳の歴史は古く、3000年以上前に書かれた「周礼」という聖典に出てきます。長い歴史過程で変遷しながらも、季節の陰陽の調和、五行学説との組み合わせから、その時々々の食材の効力で、身体の精気を補うことが出来るものとされてきました。

お話の中で「白い食材は肺を潤し肌にも良い」「髪の毛を増やすには腎を補う食材をコツコツ食べる」「中国でビールは冷やさないのは、胃腸の活力を守るため」など。身近な話題も交えながらの興味深い講義。また、秋は冬に入る前のデドックスのため「ピリ辛」の食材を少し摂ると良いとの事。15分の予定が30分の講義になりました。

調理実習自体は下準備が十分施されていたため順調に進み、試食も距離を取りながら、歓談は出来るだけ控えることになりましたが、参加者は美味しく出来た料理に満足そうでした。「肺を潤し免疫力を高める秋の薬膳～乾燥する秋、見えない敵から体を守る薬膳の知恵」。新型コロナウイルスに翻弄され、「ウイズコロナ」の時代に生きる現代。今の暮らしに応えた企画「料理教室」になったと思います。



(世界の料理委員会 山田祐子)

事務局便り

【最近の実施事業】

- 11月21日(土) 日本の伝統文化「盆石」実演と体験
講師：水野賀弥乃氏(ゲッシュタルト・セラピスト)、
窪田麻里氏(帝国ホテル・アンティークジュエリー店勤務)
場所：港区立生涯学習センター305号室

【今後の事業予定】

- 12月5日(土) 書道体験教室
講師：金田翠夢氏(毎日書道展会員)
場所：港区立生涯学習センター304号室
- 12月11日(金) 平和を考えるシリーズ第2回シンポジウム「魅力ある海を次世代につなぐために」
講師：道田豊氏(東京大学大気海洋研究所教授、日本ユネスコ国内委員会政府間海洋学委員会(IOC)分科会主査、海洋調査技術学会会長)
パネリスト：
マヌエラ・ハルトヴィッヒ氏(国立環境研究所地球環境センター特別研究員)
佐々木剛氏(東京海洋大学教授)
場所：国際文化会館(Zoom同時配信有り)
- 12月13日(日) 第四回日本語スピーチコンテスト
テーマ：①「日本って、どんな国 何が一番興味がある?」、②「現実化する気候変動に思うこと」、③「コロナで、あなたの生活はどう変わりましたか?」
場所：リーブラ 1F ホール
- 2月20日(土) 世界の味文化紹介「韓国料理」(企画中)
3月6日(土) 風呂敷包み体験教室(企画中)
(日程調整中) 坐禅体験講座(企画中) および BONSAI 体験教室(企画中)

★当協会のウェブサイトが更新されましたので、ご覧になってください。

編集後記

- ・立冬を過ぎ気温が低くなるにつれ、新型コロナウイルス感染者が増え、第三波到来かとささやかれています。そういう中で、ある業者の一人が先日高熱を発したときの体験談を話してくれました。結論から言うと陰性だったのですが、医院に連絡を入れると直接来院するよう指示、専用入口まで行くと防護服を着用した看護師にプレハブに連れられ、PCR検査とインフルエンザの検査をダブルで受けることになったとか。鼻の痛みもきつかったそうですが、何より人の視線が痛かったそうです。治療薬の無い今、言われている防御策で自らと家族を守るしかないですね。(新福彰二)
- ・米国大統領選の結果が遅れる隙について、中国の王毅外相は日本と韓国を訪問し、中国と対立するインド・台湾と米国を除いたアジア・太平洋圏15か国で締結したばかりのR E C P(東アジア地域包括的経済連携)の絆を強めようとしている。さらに香港問題で中国に批判的なアングロサクソン系のファイブ・アイズ(米英加豪新)を牽制し、米国の入っていないTPP11にも参加意欲を示して、世界での覇権を手に入れようとしている。(前田幹博)
- ・最近、大学のOB仲間から高齢者が詠んだ傑作な川柳が配信されてきました。どれもこれも自分に当てはまるものが多くて、ふき出してしまいました。コロナのせいで外出・歓談の自粛を迫られる生活がつづくなか、少しでも笑いの種を探して楽しく暮らす所存です。(棚橋征一)

港ユネスコ協会事務局 (火～金 10:30～17:00)

〒105-0004 東京都港区新橋3-16-3 TEL03(3434)2300 TEL・FAX03(3434)2233

Eメール：info@minatounesco.jp ウェブサイト：<http://minato-unesco.jp>